

全体	No. 7
個別	02-01

平成27年度 [総務部] 目標の成果

課名	総務課
----	-----

No.	項目	市内の土砂災害危険箇所や土砂災害（特別）警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを作成します。
	1. 組織目標	
	【内容】	市内の土砂災害危険箇所や土砂災害（特別）警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを作成し、防災意識の高揚と防災知識の普及啓発を図ります。
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年1月までにマップ案を作成 平成28年2月に印刷開始 平成28年3月配布（広報配布時）
	2. 実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年9月補正予算にてマップデータ作成業務委託費(11,135,000円)、印刷業務委託費(6,280,000円)計上 平成27年11月16日付けで株式会社パスコ 長崎支店と業務委託契約 <p>成果 ベース地図 ゼンリン住宅地図2016.1 掲載内容 土砂災害危険箇所、土砂災害(特別)警戒区域、避難経路、消火栓、防火水槽、指定避難所、浸水区域、冠水箇所、救急病院、避難行動要支援者施設、消防格納庫</p>
	3. 評価	△
		当初は、土砂災害危険箇所など行政側が持つ情報を基本に登載してする方向で年度内の完成を予定しておりましたが、実施段階において、浸水区域や冠水箇所など特異な地域の情報と主要な避難経路を表示するという整備方法の転換を行うことにより、その情報収集と整理に時間を要したため、年度内完成に至らず繰越事業となった。
	4. 今後の展開	マップの配布は遅くとも8月末までとしており、配布後は、市民参加の避難訓練などに活用するなど、地域防災意識の高揚と防災知識の普及啓発を図ります。

全体	No.8
個別	02-02

平成27年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	財 政 課
-----	-------

No.	項 目	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表																		
	1. 組 織 目 標																			
	【 内 容 】	<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。 ・将来にわたって健全な財政運営を確保するため、第3次対馬市中期財政計画（計画期間H28～H32）を策定します。 ・将来の公債費抑制を図るため、積極的な繰上償還を実施します。 ・公共施設等総合管理計画策定（H28までに策定）及び新地方公会計整備（H29までに整備）に取り組みます。 																		
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・予算、決算の状況について広報、ホームページに掲載 																		
	2. 実 績 (成 果)																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況等公表状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">公表項目</th> <th style="width: 20%;">ホームページ</th> <th style="width: 20%;">市報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度当初予算</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○（概要版）</td> </tr> <tr> <td>平成26年度下半期及び平成27年度上半期予算の執行状況</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成26年度決算</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>第3次対馬市中期財政計画</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上償還 500,000千円 	公表項目	ホームページ	市報	平成27年度当初予算	○	○（概要版）	平成26年度下半期及び平成27年度上半期予算の執行状況	○	○	平成26年度決算	○	○	平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	-	第3次対馬市中期財政計画	×	-
公表項目	ホームページ	市報																		
平成27年度当初予算	○	○（概要版）																		
平成26年度下半期及び平成27年度上半期予算の執行状況	○	○																		
平成26年度決算	○	○																		
平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	-																		
第3次対馬市中期財政計画	×	-																		
	3. 評 価	△																		
		<p>当初予算をわかりやすく説明した「対馬市のしごと 平成27年度の予算」を作成し、区長会議で配付するとともに、ホームページで公表しました。平成26年度の決算状況についても広報に掲載しました。</p> <p>中期財政計画については、普通交付税の見込や今後の地方債計画等について見直しは行いましたが、市長交代等を考慮し、計画自体は28年度に策定することとしました。</p> <p>公共施設等総合管理計画については、全庁的な作業部会を立ち上げ平成28年度中の策定に向けて作業を進めています。</p>																		
	4. 今 後 の 展 開																			
		<p>今後ますます厳しい財政状況となることが予想されるので、しっかりとした財政見通しを立て健全な財政運営に努め、市の財政状況について市民にわかりやすい形で公表していきます。</p> <p>地方公会計整備については、公共施設等総合管理計画策定とともに平成26年度に国より整備促進の要請がなされたところであり、示されたスケジュールに沿って取り組みます。</p>																		

全体	No. 9
個別	02-03

平成27年度 [総務部] 目標の成果

課名	財政課
----	-----

No.	項目	入札・契約の適正化
	1. 組織目標	
	【内容】	<p>常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。</p> <p>また、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じて改めるよう努めます。</p> <p>さらに、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。</p>
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・最低制限基礎価格の乗率を建設工事については90%、コンサル業務、役務については75%とすることを継続し適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・現在の入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じて改めます。また、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めます。 ・当初発注予定工事公表分（96件）の入札実施目標 <ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期 19件 ・第2四半期 51件 ・第3四半期 22件 ・第4四半期 4件 ・入札結果をホームページで公表します。 ・平成27年度より入札時に提出を義務づけた工事費内訳書について制度の周知徹底に努めます。
	2. 実績(成果)	
		<p>本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事170件、建設工事関連コンサルの入札77件、物品・役務等73件で、平均落札率は、建設工事では91.66%でほぼ昨年と同等の落札率でした。また、コンサル業務の平均落札率は82.70%でした。物品・役務の平均落札率については81.48%でした。</p> <p>平成28年度からホームページで入札結果を公表しています。</p>
	3. 評価	○
		<p>落札率はほぼ昨年と同等であり、適正に推移しているものと考えます。</p> <p>建設工事の入札における工事費内訳書の提出により見積能力のないような不良・不適格業者の参入を排除し、併せて談合等の不正行為やダンピング受注の防止を図りました。</p> <p>建設業者等の信用及び技術力等を重視するとともに公正自由な競争を図ることができました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>入札契約制度を常に検証し、公正性・公平性・客観性を追求し、制度の構築に努めます。</p>